



第44回 全国学校図書館研究大会（高松大会）ご案内

- 1 主催 香川県教育委員会 高松市教育委員会 香川県学校図書館協議会
公益社団法人全国学校図書館協議会
- 2 共催 香川県小学校教育研究会 香川県中学校教育研究会
香川県高等学校教育研究会
- 3 後援 文部科学省（申請中） 香川県 高松市
- 4 協賛 香川県小学校長会 香川県中学校長会 香川県高等学校長協会
- 5 賛助 日本児童図書出版協会 Y A 出版会
- 6 テーマ 「新時代の学びを支える学校図書館」
- 7 趣旨 2024年度から「GIGAスクール構想第2期」（NEXT GIGA）が始まり、児童生徒等が所有しているタブレット端末等が整備・更新され、さらに教育活動のAI導入が加速化されるなど、学校教育も激変の時を迎えています。一方、デジタル技術の進展は、これまで大切にされてきたアナログなものの価値を再認識する契機ともなっています。
予測困難な時代を生き抜く力の育成が求められる教育の場において、アナログ、デジタルの両方の基盤となり「新時代の学び」を支える学校図書館は、これまで以上に重要になります。また、多様性の時代でもあります。そうしたことにに対応し、学校図書館の役割を果たすためには、学校現場における日々の実践が欠かせません。
全国各地の実践や研究を知り、時代の変化に対応したこれからの学校図書館の在り方について学びます。
- 8 期日 2024（令和6）年8月8日（木）・9日（金）
オンデマンドによる分科会の配信は8月10日（土）～8月31日（土）
- 9 会場 サンポートホール高松（香川県高松市サンポート2-1）
- 10 受付 2024年8月8日（木）10:00～10:30 サンポートホール高松
大ホール ロビー（3F）
- 11 開会式 2024年8月8日（木）10:30～ サンポートホール高松 大ホール
- 12 参加者 学校図書館に関心のある方ならどなたでも参加できます。
- 13 定員 1,000人
※対面は、分科会ごとに定員があります。
オンデマンド配信は、定員はありません。
- 14 参加費 7,000円（資料代、研究集録代を含む）
- 15 学校図書館を語るタベ
日時 2024年8月8日（木）17:30～ 参加費 5,500円
会場 サンポートホール高松 第2小ホール（5F）

16 分科会

対面による分科会は8日の午後、9日の午前・午後に開催します。

オンデマンドによる分科会の配信期間は8月10日(土)～8月31日(土)となります。申込の際にご入力いただくメールアドレスに、視聴のためのID、パスワード及び視聴方法の説明等をお送りいたします。

○講師・発表者

		分科会(対面)						展 示
会 場		3F 大ホール	4F 第1小ホール	5F 会議室54	6F 会議室61	6F 会議室62	6F 会議室63	1F 展示場
定員		1,000	250	100	120	40	40	
部屋番号		A	B	C	D	E	F	G
8月8日(木)	10:30～11:15	開 会 式						
	11:20～12:00	全体会(基調提案など)						
		昼食休憩						
	13:30～15:00	記念講演：茂木健一郎「子どもが読書することの意義」						
	分科会① 15:10～16:20	A-①講義(中高) YA世代の読書を考えるー電子書籍を読むー ○高見京子 全国SLA	B-①研究討議(全) 情報リテラシーを育てる「松江市の学び方指導体系表」の活用 ○林良子 元松江市学校図書館支援センター ○鎌田和宏 帝京大学	C-①講義(全) 学校図書館における読書/アプリの現在地 ○野口武悟 専修大学	D-①研究発表(小) 司書教諭の活動～学級から全校へ～ ○山田佳子 札幌市立平岡公園小学校 教職員が学校図書館の担い手になるための関わり ○大伴光子 軽井沢風越学園	E-①研究討議・WS(小) 学校図書館とICTの可能性ー1人1台端末によって変わった児童の学びー ○青木いずみ 甘楽町立福島小学校	F-①研究発表(中) 学校図書館から広がるNIE ○児玉優子 札幌市立栄町中学校	
8月9日(金)	17:30	学校図書館を語るタベ 5F 第2小ホール						
	分科会② 9:30～10:40	A-②研究発表(全) 市民団体と連携して取り組む学校図書館の展示～りぶ*さば(さっぽろ学校司書友の会)とsapporoチャイルドライツプロジェクト～ ○浅村麻姫子 札幌市立光陽中学校・札幌市立星置中学校 市民と共に歩んだ鶴岡の学校図書館ー鶴岡市での学校司書配置の運動ー ○五十嵐絹子 元鶴岡市立朝陽第一小学校	B-②研究討議(全) 国語教科書に見る情報活用能力の育成指導 ○佐藤敬子 全国SLA・北海道教育大学札幌校	C-②研究討議(小) 学校図書館の学習利用 ○杉本洋 甲府市立貫川小学校	D-②講義(全) 学校図書館を授業で使うには？ー教科・校種様々な事例等から考えるー ○堀川照代 福田孝子 神澤美子 村山正子 全国SLA指導主事研修委員会	E-②研究討議(中) 学校図書館活用とICT～スクール・エンパワーメントからの発展～ ○紀之定美知代 熊取町立熊取北中学校	F-②研究発表(高) 「水工skills」を活用した学び ○佐久間郷子 茨城県立水戸工業高等学校	
	分科会③ 10:50～12:00	A-③講演(全) 本を読むこと 考えることー作品に託す願いー ○くすのきしげのり 児童文学作家	B-③研究発表(小) 子どもとつくる学校図書館ーオビニオンリーダーを中心とした図書館づくりー ○谷麻里子 宮谷奈央 木村朋子 高松市立浅野小学校 自ら学ぶ力と豊かな人間性を育む学校図書館ー行きたくなる！本を手に取りたくなる学校図書館ー ○小寺麻貴 さぬき市立寒川小学校 ○中川亜紀 東かがわ市立引田小学校	C-③研究討議(全) 人と本、本と本を繋ぐブックトーク ○門脇明子 松江市立古志原小学校 ○林良子 しまねブックトーク研究会	D-③講演(全) ハイテク企業のトップはなぜ、わが子からスマホを没収するの？ー学校図書館の使命と可能性ー ○渡辺鋭気 学校図書館整備推進会議	E-③講義(全) 学校図書館における電子図書館導入の現状と展望 ○野口武悟 専修大学	F-③活動報告(全) 全国SLA選書ガイドライン委員会報告 ○小林功 全国SLA	
		昼食休憩						
	分科会④ 13:00～14:10	A-④講演(全) 「今、身につけたい ことばの力」 ○山根世世 元NHKアナウンス室長	B-④研究討議(中高) 地形図を活用した学校図書館での探究活動 ○伊吹希子 京都先端科学大学附属中学校高等学校	C-④講義(全) AI化が進む学校と著作権 ○森田盛行 全国SLA	D-④研究発表(小中) 荒川区学校図書館支援室の取組～学校図書館の機能の活性化を目指して～ ○近江貞之 小川ひろみ 島海裕美 荒川区教育委員会教育センター学校図書館支援室	E-④研究発表(全) 先進的取り組みから、教育環境としての絵本環境を考える ○安藤理恵子 札幌市立ノホロの丘小学校 光塩学園女子短期大学	F-④研究発表(特支) 視覚障害のある幼児児童生徒への読書活動推進 ○鈴木佳奈 伊藤順子 香川県立視覚支援学校	
	分科会⑤ 14:20～15:30	A-⑤研究討議(全) 探究的な学習指導のポイントは何か～ハイパフォーマーの実践から探る～ ○鎌田和宏 帝京大学	B-⑤研究発表(中) 学校司書が活躍する学校図書館 ○山田真由子 丸亀市立南中学校 図書資料とICTを活用した情報活用学習 ○上山陽平 香川県立高松北中学校 ○上原里美 高松市立牟礼中学校	C-⑤活動報告(全) 学校図書館における雑誌利用の可能性ーMIE研究成果報告ー ○植村八潮 有山裕美子 清水一彦 富川淳子 野口武悟 山田健太 専修大学	D-⑤研究討議(全) 新時代の学びのポイントー情報資源を活用する学びの指導体系表を活かして子どもたちが本気になる学びをつくるー ○桐畑美登利 全国SLA ○千葉尊子 横浜市立下野谷小学校 ○尾形優祐 横浜市立平沼小学校	E-⑤研究発表(高) 全校生徒で作る私たちの本棚ー図書委員の活動、授業での活動ー ○藤本歩 香川県立高松高等学校 図書館利用の推進 ○熊野明美 香川県立高松南高等学校	F-⑤ワークショップ(全) 学校図書館の環境づくり ※定員20名 ○太田敬子 久留米市立久留米商業高等学校	
	15:40～16:00	閉 会 式						

児童書、図書館用品等展示分科会(8月7日午後～9日開催)

配信期間 8月10日(土)～ 8月31日(土)	オンデマンド配信分科会					
	①研究発表(中)	②研究発表(小)	③研究発表(小)	④研究発表(中)	⑤研究発表(全)	⑥研究発表(高)
	図書委員会活動の活性化による読書推進 ○坂出・綾歌地区中学校	情報活用能力を育てる授業 ○山口優子 渡邊慶一 高松市立川東小学校	読書活動の充実と情報活用能力の育成～学校司書と連携した1年生の実践～ ○谷川絢香 坂出市立金山小学校	交流活動、図書館イベント研究 ○近藤陽子 高松市立玉藻中学校 ○森宗利晃 香川大学教育学部附属高松中学校	「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」の活用 ○東京学芸大学学校図書館運営専門委員会	岡山の高校司書によるおすすめ本のコンテスト「でれーBOOKS」の紹介 ○岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会
	⑦研究発表(中)	⑧研究発表(小)	⑨研究発表(中)	⑩研究発表(小)	⑪報告	⑫報告
	読書の価値を自覚して、目的的に読書する生徒の育成 ○小川美帆 名古屋市長瀬中学校	ひとりからひとりへ～司書教諭として人と繋がりながらの実践～ ○中村仁志 中野市立平野小学校	地元の昔話を紙芝居に～琴平町在住の画家や随筆家とともに～ ○嶋田貴子 琴平町立琴平中学校	地域財を活用し、子どもたちの思いを大切にした主体的な学び ○岩本容子 中央市立豊富小学校	学校読書調査、学校図書館調査報告 ○磯部延之 全国SLA	SLBAの活用 ○学校図書館図書整備協会
	⑬報告	⑭報告	⑮報告	⑯報告(予定)	⑰学図見学	⑱学図見学
	文部科学省学校図書館施策 ○文部科学省地域学習推進課	「国立国会図書館における読書バリアフリーに関する近年の取組」(1) ○国立国会図書館	「国立国会図書館における読書バリアフリーに関する近年の取組」(2) ○国立国会図書館	国立国会図書館国際子ども図書館の学校図書館支援 ○国際子ども図書館	学校図書館バーチャルツアー 高松地区	学校図書館バーチャルツアー 坂出・綾歌地区
	⑲学図見学 学校図書館バーチャルツアー 東かがわ地区					

※8月8日(木)・9日(金)の開閉会式、全体会、記念講演、分科会等は対面開催のみの実施となります。

※児童書、図書館用品等展示分科会につきましては、8月7日(水)～9日(金)の3日間(8月7日は午後のみ)実施します。

※対面で行う全体会・分科会とは別にオンデマンド配信の分科会を行います。参加申込をされた方は上記の期間に動画を視聴できます。

- 17 宿泊・昼食 ・宿泊を希望される方にはホテルを斡旋します(斡旋数には限りがあります)。
- ・昼食を希望される方は弁当(1個 1,100円 お茶付き)を斡旋します。
- いずれも参加申込専用サイトからお申し込み下さい(18参照)。
- なお、会場および周辺には飲食店も多数ありますので、ご利用下さい。

18 参加申込

〈申込方法〉

※申込はインターネットの申込専用サイトからのみとなります。下記のURLにアクセスしていただき、申込画面から必要事項を入力してください。

オンデマンドのみの参加もできます。参加費は対面での参加と同じく7,000円となります。

全国学校図書館研究大会(高松大会)参加申込専用サイト

<https://www.mwt-mice.com/events/44toshokan>



全国学校図書館協議会ホームページ(<https://www.j-sla.or.jp/seminar/index.html>)

からも参加申込専用サイトに入ることができます。

※入力画面の指示に従って、必要事項の入力をお願いします。

①大会参加の申込、希望分科会等の申込をお願いします。

②希望があれば、宿泊、弁当、「学校図書館を語る夕べ」の申込をお願いします。

③メールにて受付完了通知が送られます。

※各分科会等には会場の都合で定員がございます。先着順ですのでご了承ください。

〈参加費等の支払い方法等〉

※申込画面からの手続き終了後、申込画面に記載されている振込先に、期日までにお支払いください。ご入金を確認後、申込内容に基づき大会参加券、分科会券、宿泊券、弁当引換券、「学校図書館を語る夕べ」参加券、ご希望の方は領収書、その他連絡用紙等が「名鉄観光サービス株式会社 高松支店」より郵送されます。大会当日は各券が必要ですので、必ずご持参ください。

〈期日のご案内〉

※申込期間 2024年6月10日（月）10:00～7月1日（月）17:00

※振込期限 2024年7月5日（金）厳守をお願いします。

支払い確認ができない場合は申込の取り消しをさせていただくことがあります。

※参加券の送付予定期間 2024年7月8日（月）～7月19日（金）

〈変更や取り消し〉

※7月5日（金）までの取り消しは全額返金いたします。

※7月6日（土）以降の返金はいたしませんのでご了承ください。なお、その場合、「大会要項」及び「大会集録」を大会終了後にお送りいたします。

19 その他

〈参加・弁当・宿泊の申込及び申込期限後のお問い合わせ先〉

名鉄観光サービス株式会社 高松支店

「第44回 全国学校図書館研究大会（高松大会）」 受付係 合田・井上

〒760-0023 香川県高松市寿町1-4-3（高松中央通りビル3階）

TEL：087-822-1621 FAX：087-822-1628

営業時間：平日10:00～17:00（土・日・祝日は休業）営業時間外は翌営業日扱いとなります。

〈大会内容のお問い合わせ先〉

高松大会事務局 香川県立香川中央高等学校 山本真由美

〒761-1794 香川県高松市香川町大野2001番地 FAX 087-886-7988

〈会場住所〉

サンポートホール高松 〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1

※公共交通機関をご利用ください。

※お問い合わせは会場ではなく、大会事務局へお願いします。